

V Cooperation with Local Community (Annual Report(2nd semester, 2019-1st semester, 2020))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00028202">https://doi.org/10.14945/00028202</a>

## V 地域交流（令和元年度後期・令和2年度前期）

案野 香子／袴田 麻里

例年、多くの交流活動が実施されるのだが、新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度前期は、活動の多くを取りやめざるを得なかった。

10月9日(木)、静岡県立浜松北高校国際科の生徒40名が授業の一環として来校し、留学生と英語で交流した。

10月17日(木)、浜松国際交流会館において浜松中央署による交通安全講習（ふじのくに地域・大学コンソーシアム）と、浜松市による地震防災講習が行われ、新入生を中心に40名ほどの留学生が安全に関する知識を得た。

11月7日(木)に、静岡大学付属浜松小学校での英語での交流会に6名の留学生が参加し、小学生から英語で自作の「Universal Tourism Map」の説明を受けた。

11月19日(火)に、静岡大学付属浜松小学校で日本の季節や動物についての英語クイズ会に2名の留学生が参加し、交流を楽しんだ。

11月より、静岡聖光学院中学校・高校の英語クラスのTAとして、10名の留学生が毎週訪れ、プレゼンテーションや英語を通じた社会学習の支援を行った。

11月15日(金)から17日(日)まで、浜松キャンパスの留学生16名（インド6、インドネシア3、ベトナム2、中国1、台湾1、バングラデシュ1、タイ1、ミャンマー1）が、浜松市内の16家庭でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

12月21日(土)・22日(日)に静岡県立焼津青少年の家で行われた「話っ、輪っ、和っ！」（主催：静岡県留学生等交流推進協議会）に本学を含む県内大学から留学生55名、日本人学生41名が参加し、他大学の学生と話し合いやゲーム、食事などをともにして交流を深めた。

12月23日(月)、ABP学部1年生が工学部学生後援会から留学生企画補助を受けて国際文化ワークショップを企画し、日本人学生と留学生の交流を促した。

令和2年5月13日(水)に、浜松国際交流協会とzoomで結び、学部1年の留学背ギア浜松市の外国人支援や国際交流活動について、講義を受けた。

9月11日(金)、市内着付業者との連携により、ABP修士学生が日本の卒業袴を着用し、秋季学位記授与式に出席した。